

保健師



健康福祉部
精神保健福祉センター
企画・指導班 技師 大須賀 まみ

経歴 採用12年目

- H26年 健康福祉部
精神保健福祉センター
企画・指導班
- H23年 仙北地域振興局 福祉環境部
健康・予防課 健康・予防班
- H22年 仙北地域振興局 福祉環境部
企画福祉課 調整・障害者班
- H19年 入庁
平鹿地域振興局 福祉環境部
健康・予防課
疾病予防・医薬班

ある日のスケジュール

- 6:00 朝食、子供たちの準備など
- 8:15 出勤
- 8:30 朝コミ、メールチェック
- 9:00 精神医療審査会へ提出する書類の事前チェック、保健所へ疑義照会
- 12:00 同僚とランチ
- 13:00 依存症に関する面接相談
- 14:30 面接結果の振り返り、所内で情報共有
- 15:00 ひきこもりの方の職場体験事業所(企業)を訪問
利用者や職親(事業所の方)と面接
- 16:30 帰庁、面接結果の振り返り
所内で情報共有、記録整理
- 17:30 退庁
- 18:00 子供たちのお迎え
帰宅
夕食、子供の宿題の丸付け

わたしの職場はこんなところですよ

精神保健福祉センターは、精神保健福祉に関する事業を実施している、県内唯一の精神保健福祉に特化した機関です。精神科医の所長をはじめ、保健師、心理職、行政・一般事務職、非常勤職員が在席しています。明德館高校の建物の1階にあり「なかいち」の目の前という市内中心部での勤務です。

わたしは今、こんな仕事をしています

主に精神保健福祉に関する相談業務や精神医療に関わる届出等の審査を行う精神医療審査会事務を担当しています。

相談業務では、アルコールやギャンブルなどの依存症に関するものや、精神疾患を有した方の困り事などに対応しています。精神医療審査会事務では、医療保護入院者等の各種審査に関する業務を行っています。また、ひきこもりの方の職場体験事業所(企業)を訪問することもあります。

秋田県のここが好き！

「人っこ」が良いところ！私は県外出身ですが、あったかい秋田県の皆さんが優しく迎えてくれ、全くホームシックになりませんでした。

ハタハタやじゅんさい、サラダ寒天など、魅力的な食べ物も盛りだくさん。身も心も秋田県民になったなあと思います。

保健師職のやりがいはこちら！

健康教育などの一次予防だけでなく、感染症の拡大防止などの二次予防、精神障害者が地域で暮らしていくための三次予防など、様々な予防活動を通して公衆衛生に携わることができます。秋田県では保健師の人材育成ガイドラインが作成されており、新任期や中堅期など、それぞれの時期に合わせた教育プログラムがありますので、保健師としてのスキルを高めていくことができます。

入庁してから何か大変だったことはありますか？

子供が小さい時は病気になることも多く、早退したり、休暇を取得しなければならないことがあります。県庁には看護のための休暇制度があり、加えて同僚にも助けてもらいながら、なんとか乗り越えてきました。最近はそんなことも減ってきたので、次は私がお返ししていく番だと思っています。

入庁前に抱いていたイメージは実際に働いてみて変わりましたか？

転勤が大変そうだなと思っていましたが、すぐに慣れました。県内各地域につながりができ、各地の良いところや美味しいお店などたくさん知ることでもでき、とても楽しいです。

採用試験の準備は、どのようにしましたか？

国家試験の勉強と並行して取り組まなければなりませんが、県庁の採用試験は半年以上先なので、それまでは教養試験の勉強をメインにしなが、息抜きに国家試験の勉強、という具合に取り組みました。教養試験対策には市販の問題集を購入、論作文試験対策には近年の出題傾向や秋田県の課題を調べて事前練習しました。同級生の多くは病院を受験し、試験時期も異なるので、自分のペースを意識しました。周りで国家試験の勉強を進めているのを見ると焦ってしまうので、図書館など、環境を変えて勉強するのがお勧めです。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

我がまち「秋田」のために働けます。私たちと一緒に、秋田の健康を守るお手伝いをしませんか。

一緒に働くことを楽しみにお待ちしております。

保健師



由利地域振興局 福祉環境部
健康・予防課 健康・予防班
技師 小笠原 応弥

経歴 採用2年目

H29年 入庁
由利地域振興局 福祉環境部
健康・予防課 健康・予防課

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤
- 8:30 朝礼、メールチェック
- 9:00 エイズ及び性感染症等の検査準備
- 10:00 予約来所者の相談対応、
上記検査の実施
- 12:00 昼食
- 13:00 結核患者服薬支援対象者宅
訪問(DOTS)
※結核の服薬治療は長期間となるため
毎日確実に服薬できるよう、保健師
が定期的に訪問して支援しています
- 15:00 結核患者服薬支援会議
(DOTSカンファレンス)のため
病院へ
- 16:30 帰庁、復命書作成
- 17:00 メールチェック
- 17:15 退庁
- 18:00 買い物
- 18:30 帰宅
- 19:00 夕食、お風呂
- 21:00 業務に関する特集を視聴
- 22:30 就寝

わたしの職場はこんなところですよ

由利地域振興局福祉環境部は、「企画福祉課」、「健康・予防課」、「環境指導課」の3課各1班体制で、保健所としての業務もっています。

私の所属する「健康・予防班」は、保健師5名と薬剤師2名、診療放射線技師、管理栄養士、献血推進員と多職種で構成されています。主に母子・成人・老人保健に関するもの、難病対策、感染症対策、医務・薬務に関するもの、献血業務等様々な分野の業務を行っています。

保健師は部内に8名おり、他の3名は「企画福祉課」に配属され、保健・福祉施策や障害者に関する業務に取り組んでいます。

わたしは今、こんな仕事をしています

結核患者発生時の対応や患者管理、服薬支援(DOTS)等を医療機関やご家族と連携して進める業務を担当しています。

また、保健所ではエイズや性感染症等の検査を実施しており、検査の調整や電話・来所での各種相談対応も行っています。

秋田県のここが好き！

四季の表情がとても豊かで、優しくおおらかな人が多いところが魅力の一つだと思います。また、綺麗な水から育まれるお米などの農作物や種類豊富な日本酒も大好きです。

保健師職のやりがいはこちら！

健康づくりや病気の予防に関することはもちろん、病気を抱えながら地域で生活を送る方に寄り添うことができるのも、保健師職の大きなやりがいだと思います。

さらに、日々関係機関を含め、多種多様な職種の方とやりとりをするため、いろいろな分野の知識や考え方に触れられ、自身の成長に繋がり、活動への多角的な視点を養うことができます。

これまで特に印象に残っている出来事はありますか？

平成30年7月の広島県豪雨災害に際し、広島県庁に1か月間派遣され、災害対応後の各種報告会や連絡会の調整や資料作成等を行いました。被害の少ない地域では通常の生活を取り戻しつつあるのに対し、甚大な被害を受けた地域ではまだまだ支援が強く求められているような状況でした。

地域ごとの保健師間で情報交換や対応の実施状況の共有が非常に重要となっており、多職種と連携し共に復興に向けて動いていく姿がとても印象に残っています。

採用されて2年、どんな変化、成長がありましたか？

現在の業務を担当し、その人らしい生活や健康づくりについてより深く考えるようになりました。同じ地域の中にも様々な価値観を持つ方々が暮らしており、その環境もそれぞれ異なっています。その中で、保健師として支援していくには、また同じ県民として接していくには、相手の想いを受容・共感し、自分の考えをしっかりと伝えることが必要だと気付かされました。

採用試験の準備は、どのようにしましたか？

教養試験には公務員試験用の問題集を購入し、大学の友人と問題を出し合っながら楽しみながら勉強するようにしました。面接試験には、秋田県の現状や課題を調べ、自分なりに意見を明確に述べられるよう準備して臨みました。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

県内各地で活動できるチャンスがあり、秋田県の魅力をまるごと体験できると思います。また、多職種の方と一緒に仕事をする事で日々楽しく様々な経験を積むことができます。ぜひ一緒に働きましょう。